

新築から1年、Kさん宅の1年点検に同行してきました

Kさん家族の希望を詰め込んだ家が建ってから1年がたちました。
拓友建設さんでは必ず行われる「1年点検」。向うのは設計の野際さんと施工の拓友建設さんの「拓友チーム」です。



「1年点検」はまるで健康診断

まず目を引いたのは正面の庭。奥さんが手塩にかけた、たくさんの種類の野菜がたわわに実っていました。一冬を経験した家の1年点検ではまず、外観を見て回ります。

- ・外壁に傷や割れ、剥がれなどがないか。
- ・触ってみて手に何か付着しないか。
- ・雨のシミなどがついていないか。

ゆっくりと目をこらし、なおかつ触りながら見て回ります。みんなで談笑しながら和気あいあいです。結果何事もなく、Kさんのお宅の外回りはまるで新築かのようにキレイなままでした。ひとつだけ、外物置の引き戸が最初より渋くなっているとのこと。様子見後、回復しなければ戸を削るそうです。

気になることはなんでも聞いてみるべき



外物置の引き戸

← アスファルト突き破るスギナ恐るべし



サンプルのレンガ

四季を経て1年住んでみると、家への疑問や希望も出てきます。どんなに小さな事でも気になることはプロに相談した方がいいそうです。野菜が元気に育つ素晴らしい環境のKさん宅。それは雑草にも良い環境ということ。Kさんは「玄関アプローチのアスファルトを雑草が押し上げ割って出てくるんですよ」と相談しました。拓友チームはかかる金額や家との調和、それにメンテナンスを考えてレンガを敷くことを提案。さらにKさんは実際に昨日まで TENT を張って「キャンプ場」として使用している裏庭を「人工芝にしたいな〜」と希望を出します。



Kさん家族のキャンプ場
ここに人工芝を希望

拓友チームはいくつかある施工の方法、およその金額を伝えていました。心が決まれば見積もりを貰うそうです。聞けばすくすく射た答えが返ってきて、サクサクと話しが運んでいきます。

次は家の中です。

- ・壁のヒビや割れの目視はモチロンのこと。
- ・あらゆるスイッチの点検。
- ・全てのドアの開閉とボイラーまでも開けられるところはすべて開けて点検。

「へえ、そんなところ開くんですね(笑)」とKさん夫婦も日頃見ない光景に楽しそう。結果はまたもや何も問題なく、驚くくらいキレイなまま。小学生の男の子が2人いるので、少々のやんちゃの痕跡くらいあるかと思えばそれもナシ。拓友チームは「拍子抜けするくらい何も問題無いね」と顔を見合わせていました。



顔を合わせたコミュニケーションが大切

1年点検も最終段階。
拓友チームは40項目以上のチェックシートを手に、Kさんに質問をしています。詳細は書きませんが、住んでみて気になるあんなことやこんなことはありませんか？という内容です。「ないね」「ナイナイ」「ないですー」「まったく」…。というお答えばかりでどこにも問題はないようです。その代わりに「この窓にしてヨカッター」「冬も本当に暖かくて暖房を2時間くらいしかつけませんでした」とか、満足しているお話ばかりがどんどん出てきます。Kさん夫婦は始終ニコニコ顔で、新しい家での生活をとことん楽しんでいる様子が伺えました。

こうして終わった1年点検を拝見して感じたのは「こんなに丁寧に細かくチェックするんだ」ということ。そして建物を見るだけじゃなく、ご家族の生活にストレスがないかを何よりも気にかけていました。さらに「施主・設計・施工」が集まることでコミュニケーションがより深まります。まるで「これから一緒にこの家を大切にしていこう」という会合のようでもありました。

そういえば大きく変わった部屋がありました。以前は何も置いていなかった1階のピアノ室。お教室を開く予定で防音使用にしてありました。そこには立派なグランドピアノがおさまっていました。なんとこれは奥様のご実家がある福岡から輸送されてきたそうです。

「いつピアノ教室を開くんですか？」と尋ねると「今は畑が忙しいからどうかな〜(笑)」とのこと。帰りは奥様が丹精込めて育てた、太くてハリのある立派な大根を頂きました。Kさん、今日は有り難うございました！

